

思修館院生による研究指導

京都大学院生から研究計画についてアドバイス

6月12日（土）に京都大学大学院思修館院生から課題研究の方向性を決めるにあたり助言をいただきました。院生の方々は思修館で文理融合のアプローチで社会課題の解決をめざす総合的な学問の研究を行っています。本校にSGコースが設置されてから毎年恒例の行事として指導をいただいています。

今年度も昨年同様オンラインで実施し、2年SGコース生が8名の大学院生に研究の方向性を報告し、アドバイスをいただきました。



感想：印象に残ったのは、自分が興味を持てるようなプロジェクトにしないと、人を集めることはできない、ということだ。他人事にしなくて、自分ごとに考え、自分だったらどうか？という視点を大切にしていきたい。

感想：こちらの意見にすごく真摯に耳を傾けてくださる姿に感動しました。好奇心がとても旺盛で造詣が深いというところもすごいと思ったり、その情熱も見習いたいと思いました。

感想：頭にスルメを入れるように問題も常に頭の片隅に置いておき、噛み砕きながら解決することを教えてくださり、とても勉強になりました。自分達の実現可能な範囲を意識する事の重要性を学ぶことが出来ました。

“I am in admiration for your efforts.”

大学生から：Not only did I come to better understand SDGs, but I am really in awe and in admiration for your efforts to create a SDGs committee for the future. I thoroughly enjoyed your presentations! Thank you very much for presenting.

大学生から：Thank you for discussing your experiences about J high school. I was so impressed by your level of English, and that makes me want to study Japanese harder. Thank you again for having us!

大学生から：Thank you so much for participating in the exchange meeting yesterday! I was very amazed and impressed with your English-speaking abilities, and even more so with your complex and insightful presentations. I hope you all continue your English-studies and continue to be productive global citizens.

プリンストン大学国際交流

成果発表会に向けてプリンストン大学生と特訓

6月29日（火）に「SG探究活用」の一環として、34H生徒が米国プリンストン大学の学生とオンラインで交流をしました。

今回の交流会は、7月の課題研究成果発表会を目前に控えた生徒たちにとって、プレゼンテーションのスキルを磨くだけでなく、オンライン上で行う英語コミュニケーションに慣れるための絶好の機会になりました。前半は、日本語を学ぶプリンストンの学生のために日本語で高校生活の違いについて話し合いました。後半は、本校生徒が準備している英語プレゼンテーションを見てもらい、アドバイスをいただきました。

今後もこのような交流会を多く持ちたいと考えています。



課題研究成果発表会

約1年半にわたる探究活動の集大成

7月15日(木)にSGコース3年の集大成となる成果発表会が行われ、これまでの1年数か月わたる研究成果について東京外国語大学と金沢大学の留学生および本校2年生に対して英語でプレゼンテーションを行いました。泉丘探究の歴史にまた新しい1ページが刻まれました。



『SDGs x Teens』



『ハザード・シミュレーションすごろく』



『竹材需要増加の試み』



『在日外国人生徒への学校生活支援』



『発展途上国における食品ロス』



『災害時の水不足と備蓄』



『Fairy Tale de Fair Trade』



『景観に合った太陽光パネルを作ろう』

【感想】質疑応答を適切に出来たのがよかった。チームで力を合わせて、難しい質問に対してきちんと答えられた。事前準備をたっぷりした結果だと思うし、最後まで発表をよくしようと粘った結果だと思う。

【感想】プロジェクトを始めた頃は、自分たちでは社会を何も変えられないとさえ思っていたが、何度も話し合いを重ね、行動していくうちに、だんだん研究がより良いものとなっていき、最終的には知識・興味の上をもたせられた。

成果発表会の模様をおさめた動画を公開しています。学校ホームページのリンクから見ることができます。(公開期間: 7月23日(金)~8月6日(金))ぜひご視聴ください。

夏休みの事業予定

高校生SRサミットFOCUS(24H)

- ・7月31日(土)~8月1日(日)開催予定(オンライン)
- ・他県の高校生・大学生とSDGs課題について協働し学び合う。

Princeton in Ishikawa②(1・2年希望者)

- ・8月3日(火)開催予定(オンライン)
- ・プリンストン大学生とのオンライン交流会第2弾です。
- ・「コロナのパンデミックは高校生にどんな影響を与えたか」について日本語と英語でディスカッションを行います。

